

定住者向け
ミニ会報

令和6年(2024)
No. 264



親和会ニュース 5月号

Le petit bulletin pour les résidents permanents



親和会公式掲示板

伊豆高原 五月祭が やってくる



五月祭 Web site ↑

今年も伊豆高原市民手作りの「五月祭」の季節になりました。その五月祭を前にその前身である「伊豆高原アートフェスティバル」を提唱され、伊豆高原に市民文化の香りを定着させた、谷川晃一さんがお亡くなりになりました(享年86歳)。谷川さんを悼むと共に、この伊豆高原に市民文化祭を根付かせた創立時の心意気や考え方に思いを振り返ります。

わたくし美術館

1991年から25年間続いた「伊豆高原アートフェスティバル」のユニークな取り組みは、1988年東京から移住してきた画家の谷川さんとパートナー宮迫千鶴さんのお二人により始められました。「どこであれ、作品が5点あればそれが、わたくし美術館」という言葉をヒントに、環境保護とリンクした文化活動をやってみたいと考えたものの資金もなく、地元にも知人も少なかつたお二人が最初に相談したのはお世話になった不動産屋さんとお二人が最初に通っていた鍼灸師さん。それまでアートには縁のなかつたお二人が気持ちよく「やりましょう」と応じてくれたことで活動が始まり、7・8ヶ所と予想した参加申し込みは56ヶ所に及び、ボランティア運営委員にも多数が名乗りを上げてくれました。

手探りで迎えた開催日

手探りで迎えた5月1日の開催もフェスティバルは大盛況、それについて谷川さんは「伊豆高原の住民の内に高まっていた文化的活動意欲が臨界状態に達しており、フェスティバルを契機にどっと溢れ出した」としか言いようのない熱気だった」と語っています。伊豆高原が最も元気だった時代だったのかも知れません。

伊豆高原の豊かな自然環境の中で暮らす住民のための文化祭



五月祭パンフレット

主な配布場所

- ・伊豆高原駅改札前
- ・グランパルポート 観光案内所
- ・ミモ座リゾート
- ・いわかみ書店
- ・IKOオフィス

五月祭として復活

この大成功後もフェスティバルは商業、営業的な儲けを出すことを考えず、アマチュアリズムに徹することがずっと守られています。キャッチコピーは「伊豆高原の豊かな自然環境で暮らす住民のための文化祭」。

やがてフェスティバルをより観光的に売り出したいと行政からの提案もあったそうですが、運営委員たちはこれを良しとせず、自分たちの住むエリアは保養地であって観光地ではない、これは市民による市民のための祭りなのだ、という立場をずっと続けてきました。一緒に運営委員を務めた女性によると「外から文句言われたら俺が責任を取る」と常々おっしゃっていたそうです。一方で「谷川さんのお話は笑い転げるほど面白かった」そうですよ。お話ししてみたかったな。

カリスマ委員長の引退で一旦は幕を閉じた文化祭でしたが、種火は消えず、コロナ禍で休止と自粛の嵐に見舞われながらも若いメンバーの熱意で「伊豆高原五月祭」として復活、伊豆高原の文化の灯りを継承しています。今年も4月29日から5月31日まで、作家のアトリエや個人宅など51会場を解放し、幅広いジャンルの作品を紹介します。

『半島暮らし』は伊豆高原での楽しい暮らしが満載です。「五月祭」の前にぜひ一読を！ 先人の残してくれたこのアマチュア精神に満ちた「五月祭」を大事にしていきたいものです。

5月はどこの家も緑や花が溢れて一年中で一番美しい季節です。その中で地図を片手に自分のお気に入りの作品や庭を自由に見て回るのは何と楽しいことでしょう。

会員だより（読者投稿）

【先輩主婦の知恵を教えてください】

昨年暮れに移住した夫婦です。

毎月の親和会ニュースを楽しく拝読しています。私もPTAや自治会で広報誌を作っていた経験があり、このような素敵な広報誌を作られているご苦労に頭が下がります。ようやくこちらの生活にも慣れてきましたが、日々の買い物にはまだ苦労しています。どのスーパーの野菜が新鮮で、どこの鮮魚が美味しいなど、また混雑する時間帯など先輩主婦のお知恵をお借りできれば、買物にも気合が入りますので宜しくご検討ください。（一部省略）（第3地区 Kさん）



ご投稿有難うございます。
先輩主婦のお知恵やご経験を聞き集め、
日常生活のお得情報をお知らせします。
どうぞ伊豆高原での新生活を存分にお楽しみください。
編集委員会

投稿フォーム

【毛の抜けたタヌキに要注意（疥癬症タヌキ）】

本日我が家の庭で、ぐったり弱った不思議な動物を見つけました。中型の甲斐犬の様な感じですが、耳と顔がとがった感じで毛がほとんどありません。近寄って写真を撮りGoogle画像検索したら、疥癬症(かいせんしょう)という皮膚病で毛の抜けたタヌキでした。（※ヒゼンダニによる感染症）悪化すると衰弱死するようです。また、タヌキに接触したペットに感染し、人にもまれに感染するそうです。

今日は土曜なので、市役所代表電話⇒警備員経由で市の担当者⇒市の担当者が来てくれて回収、となりました。タヌキの状況（衰弱して動けない、死亡している）で市の担当部署が違ってくるので、見つけたら市役所の代表電話に連絡し、担当部署と相談して下さい。（第1地区 高橋さん）



健康なタヌキが⇒



古道を辿って花咲く富戸港へ 親和会「歩こう会」

4月6日(土) 前日の大雨もあがり、晴天に恵まれたお花見日和。歩くのを楽しみにしていた参加者は、親和会事務所を10時に出発。四辻に向かって、下田道を北東へ進みました。四辻に差し当たるとグルメ通りを右折し、国道135号線へ向かう富戸道を辿ります。途中、頭上を“踊り子3号”が走り抜けて行きます。縄文時代の貝塚跡が出土したという払火山を見上げながら進んでいると、眼下に海

が見え始めました。七分咲の桜を眺めながら道幅の狭い旧道をのんびり下っていくと、気持ちよい海風が吹いている富戸港に到着。近くの海岸ではダイビングの準備をしている集団も。



漁業の盛んな富戸地区では、江戸時代から昭和30年代にかけてボラ漁が行われ、魚群の見張場兼司令塔「魚見(うおみ)小屋」(伊東市初の県有形民俗文化財)や「ぼら納屋」を鑑賞し、第4地区にある樹齢40数年の立派な桜がある緑地へと向かいます。

お花見しながらの昼食の後、城ヶ崎海岸桜並木通りの桜をみながらゆっくりと戻りました。薄紅色の桜と爽やかな海風につつまれた、約4時間の歩こう会。知らない道歩きがとても楽しかった！



編集後記

広報誌なんて今まで興味も経験もない広報メンバー6名が、昨年7月から挑戦をスタート。親和会ニュース制作に奮闘した私達の10カ月を振り返ると反省もいっぱいです。たかがボランティアの素人集団、されど編集委員としての自負を持って、常識に囚われず様々な企画を今後も展開します。(例えば、各地区の甘夏みかんを食べ比べてみた、なんて。)



また広報部主催の「並木カフェ」では、
⇒ 簡単なスマホの使い方
⇒ 電子マネーの使い方
⇒ ガーデニングのビギナー講座
⇒ お菓子作り初歩の初歩
など、身近なテーマを取り上げます。



あなたのお庭作りやご趣味の話、広報について皆さまのご意見をお待ちします。

広報オンライン

四季折々に楽しみをくれる庭

第二地区 井上さん

長い間、主が不在だった庭は、背丈まで伸びた草、庭中に張り巡らされた藤の根、垣根の樹木に絡みついたつる等で地表が一切見えない程荒れ放題でした。週末ごとに小田原から通って主人と二人で庭仕事を始めると、現れたのが、サツキとツツジからなる和風庭園でありながら噴水に小便小僧、白雪姫と7人の小人と、何ともチグハグなガーデンオーナメントでした。鍬と鎌を持って草抜きや根つこの処分に汗を流し、ようやく庭の輪郭が見えてきましたが、ここからが大変！

新たな植栽をするたびに、出るわ、出るわ大きな岩石。取り出すのに一苦労した後は大きな穴が残り、今度は何度も土を投入する日々でした。

こうして、別荘生活の6年間は重労働し



14年後



半年後



庭づくりスタート

私のお庭自慢

に伊豆に来るようなものでした。そんな中にも、少しずつ庭が良くなっている満足感がありました。そして、今や定住して13年。新たに植栽した花樹や、花友から頂いた草花は今では程良く調和しています。

ここでのガーデンライフで素晴らしいと思うのは、四季の変化を五感で身近に感じられることです。早春、スイセンが甘い香りを漂わせ、ロウバイの黄色い花がフルーティーな香りを放って続きます。

2月中旬になると、転居時に植えた記念樹で今では大樹になった河津桜が鮮やかな色彩で一足早い春を感じさせ、道行く人々の目を楽しませてくれます。私たちも、この花に誘われて自家製の桜餅で「花より団子」を楽しみます。

3月になると、白と紅の木蓮、杏子、大島桜、ミツバツツジ、花街道と、春に向けて足早の開花リレーです。そして、このころから庭の主役である様々なバラが芽吹き、日々緑色が増してゆく喜びを感じます。

小田原在住時からバラを楽しんでいましたが、ここでは十株程度から始め、今では気付くと130種150株以上になっています。12月、

3月は、剪定、誘引、植え替え、施肥と大わらわですが、この頑張りにより、5月から綺麗なバラがご褒美として返ってきます。なかでも、クヌギの木を取り囲むように仕立てたアンジェラは、我が家のシンボルローズで、伊豆ガーデンングクラブ主催のオープンガーデン

に、来庭された人々の目を楽しませてくれます。

(庭名：リーファイーガーデン)の時期には、来庭された人々の目を楽しませてくれます。

この庭のもう一つの楽しみは、四季折々に訪れる様々な生き物です。

3月には、眠りから覚めたアズマヒキガエルやヤマアカガエルの産卵と、オタマジャクシの誕生です。梅雨時には天然記念物のモリアオガエルも

やってきて、水辺に泡の大きなボールのような卵塊を産み付けます。

ハリネズミも遊びに来たことがあり、ツンと刺激するとタワシのように真ん丸になって笑いを誘います。また、冬のジョウビタキ、春のメジロやシジュウカラの営巣、ウグイスのさえずりで季節を感じます。時にコゲラ(キツツキの一種)がやってきて柿の木を楽器に見立てて叩きます。

四季折々に楽しみをくれる庭ですが、正直夫婦2人でのお世話は大変です。しかし、この自然の恵みを享受できる幸せのために汗をかくことを、むしろ楽しみにしてゆきたいと思っています。5月6月のオープンガーデンの時期には是非お気軽にお立ち寄りください。



親和会「夢プロジェクト」主催

初夏の山梨・日帰りバスツアーのご案内

桃狩りと信玄餅詰め放題

コロナ禍で休止していた日帰りバスツアーを3年振りに開催します。



日 時 : 7月18日(木) 雨天決行
旅行代金 : 大人一人 8,600円
募集人数 : 40名

詳細は親和会ニュース6月号の折込チラシでお知らせします。

参加者の募集は6月3日より開始!!

伊豆高原駅 8:00 = 信玄餅工場(詰め放題) = 石和(昼食)
= 一宮御坂(もも狩り) = 伊豆高原駅 18:00頃解散

※本ツアーは親和会会員の交流を目的とし、伊東市長寿ふれあい交流事業として費用の一部が助成されます。

パソコンサークル【初級コース】

パソコンサークルでは、【初級コース】を毎月第3火曜日13:30から約2時間、親和会事務所に開催します。

第1回目は、5月21日(火) 13:30~

内容は、Windows11の基本的な使い方のレッスンです。(要:資料代)

※ノートPCは各自ご持参ください。

環境ボランティア会

伊東市主催「ごみゼロ運動クリーン作戦」に参加します。

5月26日(日)

集合 9:40 親和会事務所
10:00 吊橋駐車場



親和会「歩こう会」予告

ただいま日程を調整中ですが、6月 or 7月に「八幡野来宮神社~やんもの里」を巡ります。



上記の各行事に参加希望の方は、親和会事務所 (0557-53-1122) まで

スマホ教室 @並木カフェ	5月2日(木) 午後2時~	親和会事務所	第1木曜日
Highlander Topics	今回は6月に開催予定	八幡野コミセン	
パソコンサークル	中級 5月7日(火) 午後1時30分 初級 5月21日(火) 午後1時30分	親和会事務所	第1火曜日 第3火曜日
サロン・デ・スペイン語	5月15日(水) 午前10時~	親和会事務所	第3水曜日
英会話サロン	5月6日(月) 午前10時~ 5月20日(月) 午前10時~	親和会事務所	第1・3月曜日
小物作りの会	5月13日(月) 午前10時~	親和会事務所	第2月曜日
うたう会「夢の和」	5月25日(土) 午前10時~	八幡野コミセン	第4土曜日
夢クック「料理教室」	5月21日(火) ① 9時20分 / ② 12時50分	八幡野コミセン	第3火曜日
親和会「歩こう会」	今回は6月 or 7月に開催予定	八幡野来宮神社~やんもの里めぐり	
126回 親和会ゴルフ愛好会	5月16日(木)「伊東カントリークラブ」 9時15分 集合 参加希望・キャンセルは5月10日までに、幹事・平松(53-1615)まで		

「絵手紙の会」と「のんちゃん体操」は サークル解散のため休止します

夢クック料理教室

今回は5月21日(火)

6・7・8月はお休みです

問合せ・ご予約は
西貝恵子 090-6176-1849

レシピはQRコードから



スマホ教室 @並木カフェ



スマホで電子マネーを使いこなすのは至難の業。



でもポイント還元や割引クーポンなど、お得と便利は間違いなし。



並木カフェで一緒に使い方を学びませんか。

年間ゴミ出しカレンダー
保存版を総会案内と一緒に、4月末に郵送でお届けします

ご利用ください

5月のゴミ出し日

輪番の班長は掃除当番ではありません						
可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	古紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
	9 (木)	2 (木)			2 (木)	7 (火)
月・水・金・日	23 (木)	16 (木)	16 (木)	14 (火)		14 (火)
	30 (木)	23 (木) 30 (木)		28 (火)		21 (火)

ゴミステーションはルールを守って